

平成19年商業統計調査結果（速報）

～売場面積の増加が、年間商品販売額を下支え～

商業事業所を対象として5年ごとに実施する、商業統計調査の調査結果がまとまりました。

卸売業・小売業ともに事業所数は減少していますが、小売業ではスーパーマーケットやドラッグストアに代表される、セルフサービスを取り入れた業態が増加しており、これらの売場面積の増加が販売額を下支えしているように思われます。

1 年間商品販売額

年間商品販売額は、6兆6804億156万円で、前回と比較して0.4%の増加となった。そのうち卸売業は3兆7883億3992万円で1.0%の増加、小売業は2兆8920億6164万円で0.3%の減少であった。

○産業小分類別の状況（卸売業・小売業別）

(1) 増加した主な業種と減少した主な業種

・卸売業は業種別にみると16業種のうち増加したのは8業種、減少したのは8業種であった。前回と比較し変動の大きい業種は次のとおりである。

《増加した主な業種》

業種名	増減額(万円)	増減率(%)
鉱物・金属材料	11,059,970	40.8
電気機械器具	7,963,529	13.7
衣服・身の回り品	4,610,080	198.6

《減少した主な業種》

業種名	増減額(万円)	増減率(%)
食料・飲料	△9,879,325	△19.9
農畜産物・水産物	△6,855,259	△10.0
建築材料	△4,212,411	△11.9

・小売業は業種別にみると28業種のうち増加したのは11業種、減少したのは17業種であった。前回と比較し変動額の大きい業種は次のとおりである。

《増加した主な業種》

業種名	増減額(万円)	増減率(%)
燃料	8,795,824	26.4
その他の飲食料品	3,419,747	10.3
各種食料品	2,857,676	7.3

《減少した主な業種》

業種名	増減額(万円)	増減率(%)
自動車	△12,323,276	△31.5
百貨店、総合スーパー	△2,889,437	△14.6
酒	△1,827,642	△29.0

(2) 構成比の高い主な業種

《卸売業》

業種名	年間商品販売額(万円)	構成比(%)
電気機械器具	66,006,466	17.4
農畜産物・水産物	61,922,933	16.3
食料・飲料	39,718,143	10.5

《小売業》

業種名	年間商品販売額(万円)	構成比(%)
各種食料品	42,256,317	14.6
燃料	42,097,418	14.6
その他の飲食料品	36,464,001	12.6

2 事業所数

事業所数は、31,074事業所で、前回と比較して10.3%の減少となった。

○産業小分類別の状況（卸売業・小売業別）

(1) 増加した主な業種と減少した主な業種

・卸売業は業種別に見ると、各種商品卸売業だけが増加し、その他の15業種はすべて減少した。前回調査と比較し変動の大きい業種は次のとおりである。

《増加した業種》

業種名	増減数	増減率(%)
各種商品	1	4.2

《減少した主な業種》

業種名	増減数	増減率(%)
建築材料	△177	△15.9
食料・飲料	△162	△19.3
電気機械器具	△92	△22.7

・小売業は業種別にみると28業種のうち増加したのは2業種、減少したのは25業種、増減なしが1業種であった。前回と比較し変動の大きい業種は次のとおりである。

《増加した主な業種》

業種名	増減数	増減率(%)
他に分類されない	214	8.5
その他の織物・衣服・身の回り品	6	1.0

《減少した主な業種》

業種名	増減数	増減率(%)
菓子・パン	△392	△20.9
自動車	△305	△15.1
酒	△302	△23.2

